



波紋

認定特定非営利活動法人
教育活動総合サポートセンターだより
「波紋」 第17号
発行人 前田 博明
題字デザイン・山口正勝

発行所 教育活動総合サポートセンター
〒213-0033 川崎市高津区下作延5-11-8
TEL: 044-877-0553 FAX: 044-877-0980
E-mail: support0731@luck.ocn.ne.jp
ホームページ: http://www.kks-support.sakura.ne.jp/
印刷 西桜印刷株式会社
TEL: 03-3568-2543

子たちのためにできることを

「ワンチーム」で取り組もう

- 「実心、実言、実行」を基本に
 - 成熟した組織の充実を
 - 研究の成果を土台に更なる実践を
- 本年度もどうぞよろしくお願いいたします

認定NPO法人 教育活動総合サポートセンター

理事長 前田 博明

サポートセンターの設立から17年目、令和二年度がスタートしました。今年度は役員改正年度であり、3月末の理事会、並びに総会におきまして理事長に再任されました。設立の精神をモットーに、100人を超える活動会員の皆様とともに努力して参りたいと思います。

また、「認定NPO法人」資格の更新の年度でもあります。

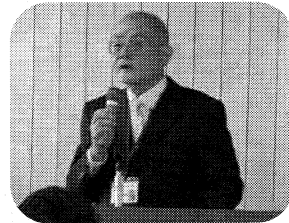
税制上の優遇措置を受けるにあたり、「社会に対する貢献」や「コンプライアンスの向上」という新たな視点で見ることがあります。そのため、成熟した組織の更なる発展のため、「情報公開」、「有給休暇の取得」、「役員代表者会や特定資産等に関する規程づくり」などに取り組んでまいりました。

設立当初からサポートセンターの諸活動にご支援をいただいている行政関係機関関係者、市内学校等教育機関に加え、私たちの願いである「子たちに力を」に賛同する企業、



賛助会員からのご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。

今年度のスローガンの中に掲げた言葉「実心、実言、実行」は、真に思っていることを嘘のない言葉で伝えて、責任を持つて実行していこう、という意味です。この言葉のもと、



サポートセンターの存続と、更なる体力強化に向けて一丸となつて頑張りたいと思います。

事業計画

本年度は認定更新の年であり「子たちに力を」の法人設立の理念に基づき、定款に定められた9つの各事業がさらに効果的に活動できるように、組織機能の一層の充実を図っていきます。

- ①教育・福祉に係る相談等支援に関する事業
 - ア 教育・福祉相談事業（自主）
 - イ 支援を必要とする子の保護者の会事業
 - ウ 神奈川県青少年センター「フリースペース等事業費補助」事業
 - エ ふれあい体験事業（自主）
 - ②適応指導に関する事業
 - ア こども包括支援事業（こどもサポート南野川）
- ③学習支援に関する事業
 - ア 学習支援事業
 - イ 地域子ども子育て活動支援拠成（補助）
 - ウ （こどもサポート宮ノ下）
 - エ 幸区地域課題対応事業（日本語支援 東小倉 川崎市学習支援・居場所づくり事業川崎区
 - イ 学習支援 川崎教室
 - ウ 川崎市学習支援・居場所づくり事業幸区
 - エ 夏休み特別講座（たのしいキッズセミナー）
 - オ 科学教育の普及・啓発助成事業（補助）
 - カ （サイエンスキッズ）
 - キ 地域の寺子屋事業（寺子屋 たかつ）
 - ク 地域の寺子屋事業（寺子屋 上作延）
 - ケ 地域の寺子屋事業（寺子屋 鷺沼）
 - コ 地域の寺子屋事業（寺子屋 富士見つ子）
 - サ 地域の寺子屋事業（寺子屋 ハッピータウン）
 - ④特別支援教育に関する事業
 - ア 中原区子どもの発達支援事業（中原区保護者ミーティング）
 - ⑤体験活動等に関する事業
 - ア 適応指導教室あさお体験広場に係る運営管理業務（東條）
 - ⑥研究研修等に関する事業
 - ア 自主研究（自主）
 - イ 川崎市教育会館運営管理業務
 - ⑦青少年の健全育成を図るための環境整備に関する事業
 - ア 臨時的任用教員研修等指導員配置事業
 - イ 教育活動サポーター配置事業
 - ウ 特別支援教育サポーター事業
 - エ 営繕業務委託
 - ⑧講演会等の企画運営に関する事業
 - ア 文化講演会事業（自主）
 - ⑨文化・スポーツ活動推進に関する事業
 - ア 大山街道ふるさと館管理運営業務（共同運営）

「川崎教育活動」で検索!

大山街道ふるさと館

令和2年度は企画展4回・記念講演会2回、ふるさと探究講座3回、春・秋・冬の3回のふるさと館まつり、春3回・秋3回の大山街道学習講座、まちのマイスター体験講座等事業の充実、展示や広報活動の進化等をさらに進めていきます。

小・中学生に向けても、子ども探検クラブ、理解講座、出前授業・職場体験等、地域学習の支援の強化をはかります。

今期のふるさと館事業が実りあるものになるよう職員一同健康に留意し全力を注ぐ所存です。お近くにお越しの際は、気軽にお立ち寄りください。

(東原)

教育会館・教育相談

教育会館は3年前に改修工事を終え、快適な環境になり間もないのですが、昨年の19号台風で冠水したあと、仮復旧工事により、1月中旬より第1・第2及び大会議室を利用いただけようになり、残念ながら冷暖房を利用することができず、ご利用いただく場合は、着衣による調整をお願いいたします。

また、暫くの間利用いただけず、時間が、9時～5時までとなりますので、ご理解ください。なお、会館担当職員は、8時30分～5時までおりますので、相談等がございましたら気軽に声をおかけください。

(市川)

臨時的任用教員研修等指導員配置

30年度より教職員の資質向上の一環として臨時的任用教員に対して研修を行うようになり3年目を迎えるようしております。初めて採用された臨任者と中学校での一人配置の初任者(正規職員)を巡回の基本対象とし、また学校長からの要望により、経験のある臨任者や非常勤講師に対しても本研修が適用され、幅広い研修として実施しております。

指導者が学校へ伺い、授業を見た後、様々な視点から研修者に対して指導・助言を行っております。研修の機会が少ない臨任者にとって非常に有効な研修となっております。

(入山)

学校サポーター配置

川崎市立小・中・高等学校の指導補助者(サポーター)に関わる採用事務・派遣事務や研修を行う、川崎市教育委員会からの委託事業です。

現在、大学生を中心に、教員経験者、地域の協力者の約700人の方々が、様々な教育活動や特別支援教育のサポーターとして、市内の小・中学校16校・高等学校4校に配置され、それぞれの学校の状況に応じた支援活動に努めています。とても熱心に取り組んでくださる方が多く各学級とともに、活動に大きな期待をいただいています。

(吉田)

のびのびファーム

ゆうゆう広場あさお敷地内にある体験農園「のびのびファーム」活用の総合教育センターからの委託事業です。

農業ボランティアの方々の指導の下、近隣の小学校2校と中学校支援級の子どもたちが、ジャガイモ・サツマイモ・大根などの植え付け・種まきと収穫など食育教育の一環として年間を通して学んでいます。天候により野菜の生育は左右されますが、昨年度ほどの野菜も大豊作で、子どもたちは大喜びでした。日常的に作物や農場の管理をしてくださるボランティアの方々感謝しています。

(山田)

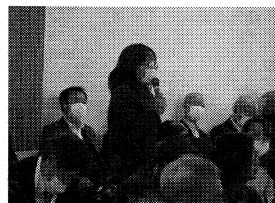
令和元年度自主研究

実際の研究にあたっては、不登校要因で最多を占める「子どもの不安」に着目しました。方法は、学習支援者、保護者、子どもへのアンケートと実践事例の検討です。その結果、子どもの不安に寄り添うことが大事であること、支援

川崎市の不登校の数は、増え続けています。不登校の態様も変わってきています。文部科学省は「不登校は問題行動ではない」という考え方を示しています。

では、私たちの支援の仕方は、今のままでよいのだろうか、不登校をどう考えればよいのだろうか、という疑問を持って研究に着手しました。

当日は、新型肺炎を考慮し内容を一部変更するなど、の開催でしたが、予想されたキャンセルも少なく、182人の方が参加



研究報告会から

(齋藤)

の基本的姿勢は変わらないことがわかり、学習支援の意義を再認識することができました。今後とも子どもの様々な不安を受け止め、将来につながる支援を行っていきたいと思います。

子どもに寄り添った多様な支援の実現に向けて

不登校の様々な実相を踏まえて

されました。参加者の沢山のご意見や感想の中から一部を紹介いたします。

自分でできる支援を見つめ直すきっかけにしたいと思いを参加しました(教員)

『不登校』は問題行動ではない。自分が守る行動と言えろ。という意味が良く分かりました。(PTA役員)

目に見える不安が時間をかけて寄り添うことで顕在化することによって本人にも状況を変える方法や道が見えてくる。共有したい(無記名)

体験者の「傷つけるのもいやすのもの」「一緒に泣いてあげる」「オープンにする」「助けを求め



★「家から外に出ることができなくなった」勉強が遅れてしまった。取り戻すことができないうか。」高校に進学できるだろうか。」など、子ども自身が抱えている様々な不安・困り感や保護者の悩みなどについて、経験豊かな相談担当者、一緒に考え、解決に向けて支援しています。相談の対象者は小・中学生を中心に、その保護者、学校関係者などです。学習支援については、支援担当者との連携を取りながら、魔法の言葉はなくて寄り添うてそれしかない。名言です。(保護者)

体験者から復帰のきっかけ、将来の展望、学校側からの対応で感じたこと等を生で聞いたことは私の教師像に大きな影響を与えた(サポーター)。

指導講師で岡田先生より、不登

教育相談案内

044-877-0553

★「個別に学習支援を行います。相談・学習支援を希望される方は、ご一報ください。電話受付 月～金曜日 9時～17時

★支援を必要とする子の保護者の会」を、年3回実施しています。不登校やいじめなどの諸問題に悩む保護者同士で色々な情報交換をしたり、解決に向けての助言や支援を行ったりしています。詳細はサポーターセンターのホームページをご覧ください。(常木)



(峪)

学ぶ楽しさ わかる喜び 元気いっぱいの子どもたち

サポートセンターに通って

私は、2年前の秋から、週に1回サポートセンターに通っています。主に算数の計算問題をしていきます。サポートセンターに来る前は、算数が苦手でしたが、今では算数が好きになりました。たまにパソコンで日本の地図を見たり、電子ピアノを弾いた



こどもサポート宮ノ下

昨年度は約130人の登録がありました。小学生の登録の増加が特徴の一つです。宮ノ下では、子どもと学習支援者が一対一で学習します。個々の子どもに寄り添い、子どもがもつ力やよさが発揮されるよう工夫しながら支援を続けています。学習支援だけでなく子どもの居場所としての役割を大切にしながら子どもを受け入れています。4月から36人の小・中学生が中学校や高校に進学しました。新しい生活に勇気を持って踏み出した子どもたちを今後も応援していきます。(保護)

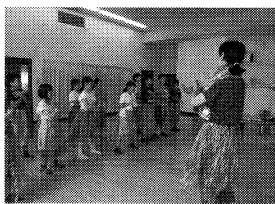
り、いろいろなことができて、とても楽しいです。家にいるときも自分から勉強をしようと思うようになりました。(小4 M・W)

一番心に残っていること

僕がサポートセンターに来たのは、2年生の冬ごろでした。国語・算数を中心に工作や時々社会もやりました。一番心に残っているのは、角柱の木材から切ったり、けずったりして、1年間かけて大きな船を作り上げたことです。高学年になってクラスのことでも悩んでいた時、サポートセンターの先生たちは、僕の話聞いてくれ、相談にのってくれたので、心を落ちつかせることができました。中学生になっても、続けてサポートセンターに来たいと思います。(小6 R・Y)

高校への階段

僕は小学校5年生の時に不登校になり、6年生からサポートセンターに通い始めました。学校ではよくわからなかった問題もマンツーマン方式で、わかりやすく教えてもらえたので、とても楽しく勉強できました。中学1年の時に少しの間学校に行きましたがまた行けなくなりました。そして再びサポートセンターに行くことができ始めるか不安でしたが、2月から通い始めました。最近は数学と美術(イラスト)を勉強しています。来年は高校受験の年なので、それに向けて受験勉強も頑張っています。(中2 K・S)



学ぶ楽しさを知って

私の子どもは中学2年の春からサポートセンターに通所し、約2年間お世話になりました。不登校の期間中、家庭ではスマホを常に手放すことなく、時間があればSNS等の日々でしたが、参加コミュニケーションが小学校から好きな航空関係である話を聞き、彼の居場所の一つとして認めました。実際、SNSで知り合った航空業界で働く人との交友により、航空業界への思いが強くなり、普段の会話でも航空業界で働きたいという色彩を加えました。進路は彼自身がネットで情報収集を行い、親としては手段や手続きをサポート

夢に向かって

春からは親元を離れての高校生活になりますが、今まで通り子どもを信じてサポートを行い、彼の夢に向かって進んでほしいと願っています。(保護者 M・T)

中学3年生になった頃、人間関係や勉強に不安を抱えました。学校の先生から勧められて、このサポートセンターに通いだしました。勉強があまり得意でなかった私は、学校を離れ、ここで勉強して「受験生」という1年間を乗り切れるのか不安でした。けれど、その不安はあつという間に無くなりました。国語と英語の2教科を教えるもらい、一ヶ月二ヶ月と続ける中で学ぶことの楽しさを知りました。毎週サポートセンターに顔を出すのが楽しみになり、勉強すること、が苦じゃなくなりました。その後、行きたい高校への進学も決まりました。サポートセンターには本当に感謝しています。(中3 M・S)

サポートセンターとの出会い

「勉強に遅れをとらないか」「人と話さないことで意思疎通に支障が出てこないか」私が学校を休みがちになって思ったことです。しかし、そんな状況だからこそ、サポートセンターと出会うことができました。和やかな雰囲気、優しい先生方、わかりやすい勉強と今の自分に必要だったものがすべて揃っていました。そして通い続けたことで、勉強も遅れず、精神的にも余裕ができました。そして今、無事に高校にも受かりました。「サポートセンターは何かすごい力をもっている」という感じ、とても感謝しています。(中3 Y・M)

キッズセミナー

キッズセミナーは、夏休みに発展学習、体験学習、実験などを取り入れた公開講座です。5日間で午前と午後8講座を開催し、延べ83人が参加。漢字謎ゲーム・大山街道マップ作り・不思議な数や計算・風車・針穴レンズ写真・葉脈標本作り・プロペラ船・リニアモーターカー・英会話ゲーム・カレンダー・ダンス・パソコンでプレゼン作り・トーンチャイムや楽器を使つての音楽会・自然材を使つてのオブジェ。子ども達は発見や完成で歓声が上がりが満足げな顔々。参観した保護者の方々のニコニコした笑顔が私どもの指導活力の源となります。(石田)



(中3 Y・M)

学習支援・居場所づくり

平成24年4月、健康福祉局に生活保護・自立支援室が創設され、「子どもの学習支援・居場所づくり事業」が始まりました。生活困窮世帯の子どもたちへの学習支援を行うことで、高校進学を支援し、健全な学校生活を送り、卒業後も大学進学や就労すること、経済的に安定した生活を送り、「貧困の連鎖」を防止することを目的として計画された事業です。各教室に通う中学生が目標をもって学習に取り組み、希望する高校に進学できるように学習支援を行っています。

5	19	5	26
全日制	全日制	全日制	全日計
0	6	0	6
定時制	私立高校	その他	公立合計
0	1	5	6
その他	私立合計	公立合計	

対象は川崎市在住の生活保護世帯等の中学生で、昨年度から新たに小学生を対象にした教室が開設され、さらに一人親家庭の中学生も対象になりました。今年度は、昨年度と同様に川崎区で川崎教室、幸区で幸教室と日吉教室の3教室を開設しています。各教室では、コーディネーター、学習支援専門員(教員OB)を中心に、学習サポーター(教員OBや市民大学生等)が子どもたちの学習支援にあたっています。



(渡邊和)

こどもサポート旭町

「こどもサポート旭町」には子ども達がつけてくれた愛称があります。「STEP&GO」です。登校や引きこもりの子ども達に安心して過ごせる居場所であり、自信をもって巣立つていける場所であることを目指して10年前に川崎区の委託を受けて開設しました。年々利用者が増え、令和元年度は延べ2000人を超える小・中・高校生が利用しました。週4日、10時〜16時、旭町こども文化センター3階で学習、ゲーム、運動、料理、講師による茶道、読み聞かせ等、楽しく活動しています。(小島)

こどもサポート南野川

「こどもサポート南野川」は、不登校・引きこもりの子どもたちの居場所として開設から11年間、子ども達自らが一歩踏み出す姿を見守り続けてきました。学習を頑張る子、畑の作業を楽しむ子、収穫した野菜で調理に挑戦する子、ものづくりで力を発揮する子、ゲームや卓球などで人との関わりを学ぶ子等。内容もやり方も十人十色。自分が選択した活動でゆつくり力をつけて、自信や心の安定を取り戻していくようです。緑豊かな自然も、通う子ども達に寄り添い励ましてくれます。(大和田)

地域の寺子屋

平成26年「子どもたちが夢や希望を持って前向きに生きて欲しい」という市長の熱い思いを受け、寺子屋事業がスタートしました。

①設置目的

- ・子どもたちに様々な学習機会を提供することにより、学力向上や豊かな人間性の形成を図ります。
- ・地域ぐるみで児童生徒の教育及び学習をサポートする仕組みを作ることで、地域の教育力の向上を図ります。
- ・地域人材の知識及び経験を生かして、様々な世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくりたい。

②活動内容

これらの目的のもと、サポートセンターでは「高津」

日本語支援 東小倉

日本語支援東小倉は、外国につながる子どもたちの居場所として2012年に幸区の委託を受けて開設されました。

昨年度は24人の登録がありました。小学生が14人、中学生が10人で、中国・フィリピン・ネパール・インドにつながる子どもたちがいました。子ども一人ひとりのニーズに応じて、日本語・国語・算数数学、時にはリコーダー等も学習しています。かるた会や音読会・お楽しみ会をして、子ども・保護者・スタッフ全員で楽しい時間を共有することもあります。(堤)

サイエンスキッズ

サイエンスキッズの活動は、今年度で15年目になります。

昨年度の出前科学教室では、延べ192人の参加、キッズセミナーと冬のサイエンスキッズでは、延べ390人の参加がありました。題材も「磁気浮上ケープルカー」や「手回し発電機でロボットの動きを考えよう」を考え出し、講座に加えました。

今年度も「自然のなごに気づき、物づくりの夢にチャレンジ」をテーマに、「ヤレンジダ」をテーマに、子どもたちと一緒に、自然の事象・現象を考え、楽しい物づくりに取り組めます。(鈴木博)

「上作延」「富士見台」「鷺沼」の四カ所での実践。そして今年から「外国につながる子どもたちのための日本語・学習サポート」として「寺子屋ハッピータウン分教室」が加わります。

主な活動内容は2つです。

- ・毎週一回の学習教室
- ・月一回の体験活動

学習教室では宿題や学習プリントを中心に、お楽しみ学習のクイズやゲームにも取り組んでいます。体験活動では「もの作り」「料理」「スポーツ」など、その道の専門家を講師に招き様々な活動を展開しています。(藤田)



編集後記

昨年、関東地方にも大きな台風が襲来、川崎市内にも大きな被害をもたらした。56年ぶりの東京オリンピック・パラリンピックをひかえ、2020イヤーズとしてスタートしたのもつかの間、新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、ついに三月には全国一斉臨時休校になった。

サポートセンターでも理事会や総会を書面による表決で実施し、新年度を迎えた。今後、教育相談や学習支援を続けていくのか、サポートの面接をどうするか、会議はどうするかなど、悩ましい課題が多い。今年度も受託事業20・補助事業2・自主事業5を展開する。さらに、認定の更新の年でもある。

サポートセンターが「不登校の子にとって本当に救いの場であった」、「セーフティネットになった」というお声を励みに、川崎市のNPO法人としての責務を果たしていきたいと考えています。(東條)

